

1. 件名：
公益財団法人核物質管理センター東海保障措置センターの防災訓練実施結果報告書（案）の概要説明について
2. 日時：
令和4年4月14日（木）10時00分～11時30分
3. 場所：
茨城県原子力オフサイトセンター 原子力防災専門官事務室
4. 出席者：
原子力規制庁東海・大洗原子力規制事務所
関谷原子力防災専門官、高尾上席放射線防災専門官
公益財団法人核物質管理センター東海保障措置センター
課長代理、技術参事
5. 要旨：
公益財団法人核物質管理センターより、防災訓練実施結果報告書（案）の説明を受けた。
主な内容は、以下のとおり。
 - （1）訓練実施日
令和3年12月7日（火） 13：00～15：59
 - （2）想定した原子力災害の概要
地震により、新分析棟のグローブボックスの排気フィルタ等が損傷し、放射性物質が異常放出されるシナリオ
 - （3）主な訓練成果
 - ・事故対策本部（緊対所）内で勤務する各係員の発話・報告要領の見直しを行い、事前の教育・訓練を実施して訓練に臨み、訓練本番では短時間で重要な事項を伝達することが出来るように改善された。
 - ・公益財団法人核物質管理センターのERC対応班による情報伝達、質問への回答等に関しては、更なる改善の余地があることが判明した。

原子力規制庁からは、ERC対応班の①役割分担と育成要領、②基本的な発話要領、及び③その訓練方法に関して一例を提示し、次年度の訓練で改善されるように助言した。
6. その他：
配布資料なし。